

床に描かれたランゴリは友人2人が3時間以上かけて描いてくれたそう



左から、サラスヴァティ、ラクシュミー、ガネーシャ

サルワール・カミーズに身を包んだ女性たち



(左) 野菜カレー。ディワリにお肉は食べません。プーリという全粒粉でできたインドのパンと一緒にいただきます

まず目に入ったのは、床に描かれた美しい砂絵「ランゴリ」。ピンクや青、黄色などカラフルな砂が使われ、とても華

やかです。また、玄関先や部屋の四隅などあちこちに灯された灯りも目を引きま

として人々に親しまれているそうです。パーティーでは、皆でビンゴ



ニティカさんご夫妻。ディワリには男性はクルタ・パジャマ、女性はサルワール・カミーズなどの民族衣装を着用します

ディワリとは、ヒンドゥー教の新年を祝うお祭り。ヒンドゥー暦の7番目の月(西暦で10月または11月)の新月の日が祭りの日となり、2017年のディワリは10月19、20日。外国人学習支援センター(U・T・C)元学習者のニティカさんのお宅で行われたディワリのパーティーには、友人夫妻など11名が集まりました。

ドゥー教の神様の化身であるラーマ王子が魔王を倒してさらわれた妻を取り戻し、スリランカから無事にインドに帰還した際に、人々が灯りを灯して出迎えたインド神話に由来するそうです。そして、ディワリにはお金や甘い食べ物、甘いお菓子、金のアクセサリなどをお供えて、富と豊穡の女神ラクシュミー、商売繁盛の神ガネーシャ、学問と芸術の女神サラスヴァティの3人の神様に祈りを捧げます。ニティカさんのお宅でも部屋の一角にそのお供えが見られました。この3人の神様は縁起のよい神様

最大のお祭り「ディワリ」。



ビンゴゲームやダンスなど夜遅くまでパーティーは続きました

行ってみた



7

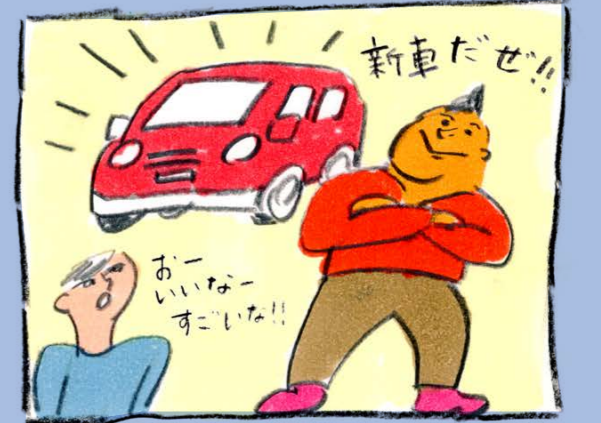


「ディワリ」

2017年10月20日(金)
@ニティカさんご夫妻宅

GAIKOKUJIN ARUARU

6 HAYAKU! HAYAKU!



7 Namae wa?

